

2023年1月16日作成

Ver.1.3

数値流体力学を利用した網膜静脈閉塞リスク評価の試み**1、研究の目的と意義**

本研究の目的は、数値流体力学という液体の流れを解析する物理学の一分野を眼底画像に応用し、網膜血管の配列パターンが網膜静脈閉塞症の発症リスクへ与える影響を評価することです。この研究によって網膜静脈を発症しやすい網膜血管の配列が見出せれば、網膜静脈閉塞症の予防に役立つことが期待されます。

2、対象となる患者さん

2010年1月1日から2021年12月31日の期間で、長崎大学眼科を受診されたことのある方で、網膜静脈閉塞症と診断された方が対象となります。

3、研究の方法

通常の外来診療の中で既に得られた画像情報のみを使用し、網膜血管の立体モデルを作成することで、網膜血管の配列パターンが網膜静脈閉塞の発症リスクに影響を与えるかどうかを調査します。

4、研究に用いる情報

本研究は、通常の外来診療の中で既に得られた診療情報（患者背景、眼科一般検査：視力、眼圧、画像所見、治療内容に関する情報）のみを使用します。

治療・診断に影響を与えることはありません。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2026年3月31日

6、外部への情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 眼科 北岡 隆

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 眼科 北岡 隆

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7345 FAX 095（819）7347

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）